

令和 5 年度 国立教育政策研究所 教育課程実践検証協力校
令和4・5年度 世田谷区教育委員会 研究 指 定 校
令和4・5年度 世田谷区小学校教育研究会 研 究 推 進 校

赤松学舎

学校ホームページ

世田谷区立松沢小学校



研究主題

児童が主体的に読み、表現する指導の工夫

—文学的な文章を通して—

I 本校の研究について

○本校の研究の考え方…………… 1・2

○研究主題に迫るための授業の視点

視点①	ユニバーサルデザイン……………	3
視点②	学び方の習得……………	4
視点③	言語活動の工夫……………	5
視点④	語彙の習得……………	6

○学習過程の工夫…………… 7・8

II 実践事例

1年生……………	9
2年生……………	10
3年生……………	11
4年生……………	12
5年生……………	13
6年生……………	14
くすのき学級（知的障害）…	15
きはだ学級（肢体不自由）…	16

III おわりに

各ページの二次元コードを読み取ると

より詳しい情報がご覧になれます。

学校教育目標

人間尊重の精神を基調として、心身ともに健康で、学ぶ意欲をもち、創造的な思考力・判断力・表現力や豊かな情操を備え、国際社会において信頼され、すすんで貢献する人間性あふれる児童を育てる。そのために「知ることから生きることへ」を教育理念として、次の目指す児童像を設定する。

◎やさしく ◎かしこく ◎たくましく



児童の実態

- 読むことは好き。読み方や言語活動を指導すると、活用する力はある。
- 説明文の読み方は分かってきたが、物語文の読み方や表現方法が分からない。
- 人物の気持ちや心情などを想像する力が弱い。
- ラーニング教材アプリ「キューピナ」に取り組み、語彙力は付いてきたが適切に語彙を活用するまでには至っていない。

本校の特徴

- 特別支援学級「くすのき学級」（知的障害）「きはだ学級」（肢体不自由）を併設
- 特別支援教室「すまいるルーム」拠点校
- 通常の学級の中にも特別な支援を要する児童がいる。



研究主題

児童が主体的に読み、表現する指導の工夫

— 文学的な文章を通して —

目指す児童像



主体的に読み、表現する児童



	読む力	表現する力
低学年	内容の大体を捉えながら読む子	感じたことや分かったことを交流する子
中学年	叙述を基に捉えながら読む子	感じたことや考えたことを交流する子
高学年	描写を基に捉えながら読む子	交流を通して、自分の考えを広げる子
くすのき学級	内容の大体を捉えようとする子	感想をもったり交流したりする子
きはだ学級	読んだことを理解しようとしたり、深めたりする子	考えたことを相手に分かりやすく伝えようとする子

研究の仮説

4つの視点「ユニバーサルデザイン」「学び方の習得」「言語活動の工夫」「語彙の習得」を基に指導の工夫を講じた「文学的な文章」の学習を積み重ねることで、児童が主体的に読み、考え、それを表現する力の育成につながるだろう。

研究の方法

主体的に読み、表現する児童を育成するため、以下の「4つの視点」を基に指導の工夫を研究していく。



視点①

ユニバーサルデザイン

～どの子にとっても
分かりやすい授業の工夫～

- ①視覚化 ②構造化 ③ユニット化
- ④焦点化 ⑤共有化 ⑥個別的な配慮
- ⑦ICT の活用

の視点で手立てを工夫し、
「みんなが分かる授業」へ！

>>> P 3



視点②

学び方の習得

～「うさ松の秘伝書」の活用～

読みの基礎・基本を単なる知識で
終わらせず、一人一人が他の場面でも
使える「学び方」へ！

>>> P 4

視点③

言語活動の工夫

～読む必然性と意欲を
もたせる～

児童が主体的に読み、表現したくなる
言語活動を手立てとして設定し、
授業を展開！

>>> P 5



視点④

語彙の習得

キュービナ
～「Qubena」の活用～

朝のモジュール学習で、
ラーニング教材アプリ「Qubena」を
活用して、言葉や言葉の使い方を
コツコツと習得！

>>> P 6

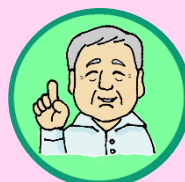


ご指導いただいた先生



文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程・学力調査官

大塚 健太郎先生



日本国語教育学会常任理事
元玉川大学教授

井出 一雄先生

研究主題に迫るための授業の視点

視点① ユニバーサルデザイン

【ユニバーサルデザイン】

～どの子にとっても分かりやすい授業の工夫～



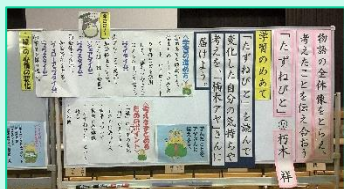
授業のユニバーサルデザインについて

通常の学級には、特別な支援を要する児童を含め、授業に対して様々な困難さを感じている児童が在籍している。したがって、学習を進める上で、支援を要する児童には「必要」であり、どの児童にも「あると便利」な教材を増やしていくことが基本的な考え方である。

視覚化

視覚、感覚、動作を入り口にして、理解や思考ができるようにする。

めあてやポイントの表示



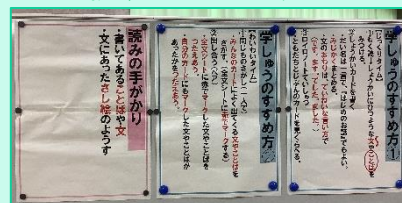
具体物操作



構造化

学習の山場を学級や児童の実態に即した構造にする。

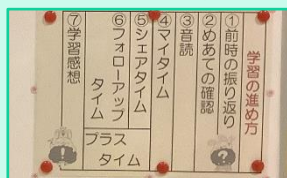
授業のパターン化



ユニット化

1 単位時間の流れを提示したり、活動をパターン化したりする。

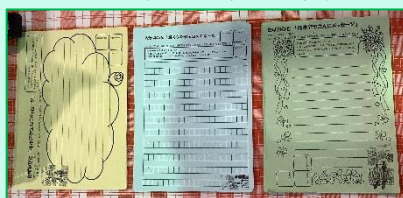
学習の流れの表示



焦点化

学習内容のポイントを明確にして、授業をシンプルにする。

ワークシートの工夫



短冊の活用



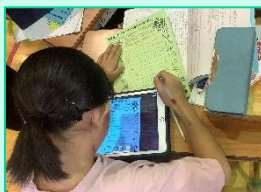
共有化

自分の考えを他の児童に伝え、思考を深める。

小グループによる話し合いの時間



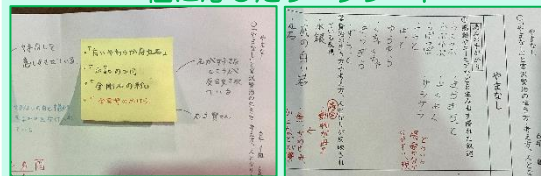
個人で修正する時間



個別的な配慮

児童の特性に即した配慮を行う。

個に応じたワークシート



(自由に書ける白紙)

(枠あり)

ICT 活用

ユニバーサルデザインの授業を構築するために、指導方法の1つとしてICT機器を導入する。タブレットや大型テレビを用いて、様々な場面で活用する。

資料提示



ロイロノート・スクールでの交流



全体交流





視点②学び方の習得

～「うさ松の秘伝書」の活用～



読み方・まとめ方

【指導事項一覧】



文学的な文章の読みの基礎・基本となる学び方を「読み方」、言語活動を「まとめ方」としてまとめることで、児童が教材にあった読み方やまとめ方を自分で選択し、読みを深めることができるようにする。

※○中の数字は「うさ松の秘伝書」の項目番号

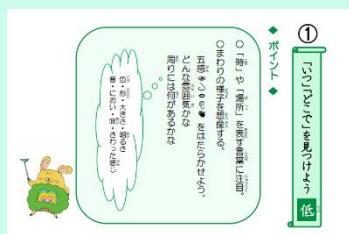
読み方	まとめ方
起承転結を見付けよう (⑦) 起…物語の始まり 承…物語の展開 転…物語の山場 結…物語の結末	人物関係図 (⑳) 登場人物同士の関係を、描写を基に読み取り、人物関係図にまとめる。



「うさ松の秘伝書」を活用した授業

読みの基礎・基本となる読み方・まとめ方をまとめた「うさ松の秘伝書～物語文の巻～」の活用を通し、学習したことを一人一人が自分で使える学び方にしていく。

1・2年生



○必要な部分を掲示物にして「読み方」を習得する。



他単元、他教科でも！
既習内容の復習にも！

3年生以上



○「まとめ方」の中から教材に合った言語活動を選択し、自分で読みを深められるようにする。



児童の気づきを学びにする「価値付け」

授業における価値付けを通し、児童の読みや考えを学び方へとつなげていく。

教師からの評価による価値付け	評価者	児童同士の交流による価値付け
机間指導や全体共有、授業後の評価	いつ	記述したものの交流や考えの伝え合い
各時間のねらい（付けたい力）に沿った読み方・考え方ができている記述や発言を取り上げ、賞賛や評価をする。	方法	全体共有で価値付けした読み方、考え方ができているのか相互・自己評価したり、根拠を基に考えを伝え合ったりする。

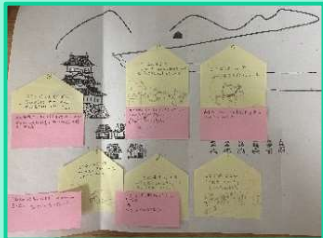
視点③ 言語活動の工夫

～読む必然性と意欲をもたせる～



令和5年度 言語活動例

児童の「読みたい、考えたい、表現したい」という気持ちを引き出すことができる言語活動を手立てとして選び、学習過程のより効果的な部分に設定をし、授業を展開する。

	習得したい学び方	言語活動例	令和5年度 言語活動例
二年生	【单元名】お話を読んで、「お話きかん車スイミー」で紹介しよう 【教材名】「スイミー」 ○あらすじをまとめながら、内容の大体を捉えること。	「お話きかん車スイミー」 登場人物がしたことや出来事に着目しながら、場面ごとにあらすじをまとめる。お話が進むごとにカード増え、列車のように繋がっていく。 	【低学年】 
四年生	【单元名】気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう 【教材名】「ごんぎつね」 ○登場人物の気持ちの変化を捉えること。	「ごんフレット（マップ・看板付箋）」 マップに、看板型の付箋（黄色）を貼り、起こった出来事をまとめていく。看板を立てた場所ごとに登場人物の心情を付箋（ピンク）に書く。できた付箋を並べたり、並べ替えたりすることで登場人物の気持ちの変化を捉えていく。 	【中学年】  【高学年】 
五年生	【单元名】物語の全体像を捉え、考えたことを伝え合おう 【教材名】「たずねびと」 ○物語の全体像を捉えること。	「時系列・マップ・見聞レポート」 全文を通して読み取った登場人物の心情を、時系列順や、主人公の足取りが分かる広島マップ、見聞レポートにまとめる。3種類のワークシートは、個人の課題に合わせて自由を選ぶ。  (マップ)	【特別支援学級】  

【 キュビナ 】 【 習得度調査 】 【 習得度調査 】
年間指導計画 テスト テスト結果



視点④ 語彙の習得

～「Qubena」の活用～

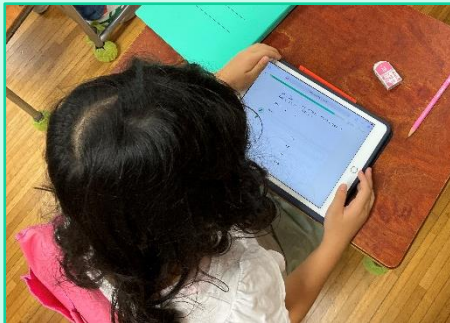


語彙力の育成をするために

語彙力の育成を行うために、タブレットで繰り返し問題を解き、ゲーム感覚で楽しく取り組むことができる A I 型ラーニング教材アプリ「Qubena（キュビナ）」を活用する。

「Qubena」 活用方法

語彙力育成に必要な項目を厳選し、年間で繰り返し取り組むことができるよう、「Qubena 年間指導計画」を学年ごとに作成した。全学年が足並みを揃えて朝のモジュール学習に15分間実施する。



1. 今日の問題に取り組み、学習結果を記録シートに記入する。
2. 今日の問題のポイントを教師の解説と共に学ぶ。
※必要に応じて「言葉貯金ノート」を活用する。
3. 今日の問題に再度取り組む。



記録シート

	国語	学習日	学習時間	正答率
①	1	4月19日	1分16秒	100%
【にどの学習(1)】	2	6月15日	1分90秒	100%
押をあらわすことば	3	月 日	分 秒	%
(9もん)	4	月 日	分 秒	%
	5	月 日	分 秒	%

学習の足跡が分かるように「学習日・時間・正答率」を5回ずつ記入できるようにした。苦手な項目を見付け、個の学習をサポートするために活用する。

言葉貯金ノート



Qubena で学習した語彙をインプットやアウトプットするために「言葉貯金ノート」を活用する。

[illegible]

学習過程の工夫

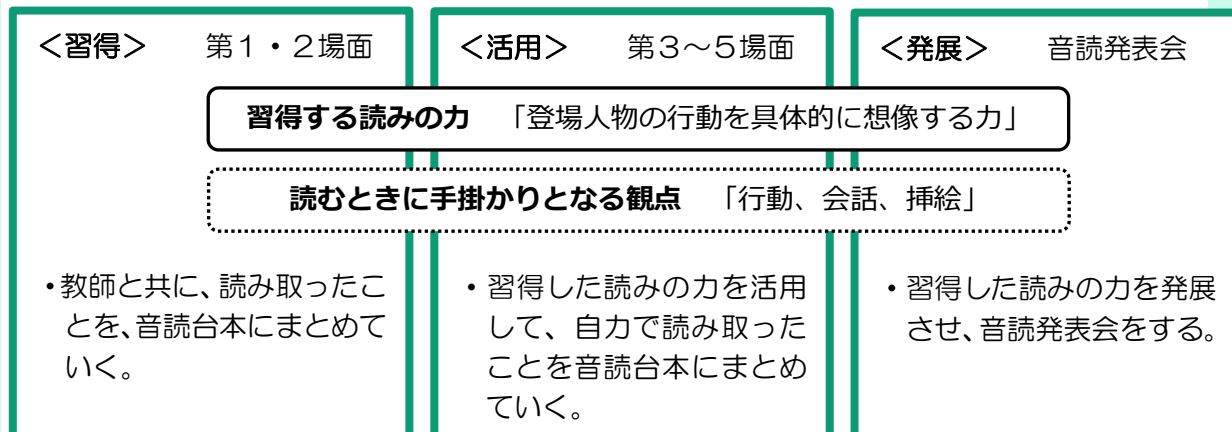
～物語教材の特性に応じた指導過程の工夫～



① 習得・活用を意識した展開例

- ◆単元に合わせた「習得する読みの力」や「学び方」を明確にして学習計画を立てる。
読むときは、手掛かりとなる観点を示しながら、その力を習得し、活用を図っていく。

(例) 教材名「くじらぐも」(1年)



習得

学び方が分かる

活用

自力でできる

発展・応用

生かす

教材の前半部分や第1教材を使い、学習のねらいとなる力を習得する。

教材の後半部分や第2教材で習得した力を使って、自力で読み、表現する。

身に付けた力を使って、さらに、他教材や他教科等に生かす。

② 物語の展開に基づいた展開例

- ◆物語の展開に合わせて、多様なまとめ方をしていく。

(例) 教材名「大造じいさんとガン」(5年)

① 物語の始まり(起)

【まとめ方例：日記】

- ・大造じいさんになりきって、出来事やその時の気持ちを想像しながら日記を書く。

② 物語が続く。展開する。(承)

【まとめ方例：時系列】

- ・出来事や気持ちを時系列に沿ってまとめる。
- ・登場人物の関係性や心情の変化を捉える。

③ 物語の山場、クライマックス。(転) 【まとめ方例：実況中継】

- ・登場人物でも作者でもないアナウンサーの立場で、戦い場面をまとめる。また、戦いを終えた大造じいさんに、インタビューし、そのときの心情をまとめる。

④ 結び、結末(結)

【まとめ方例：名場面】

- ・描写の引用や心情を入れてまとめる。



③課題を解決していく展開例

◆教材文を初読後、児童と学習課題を立てて、読み進めていく。

(例) 教材名「やまなし」(6年)

①課題づくり

- どんなことに気を付けて読むか (例: オノマトペ、色彩表現等)
- どんな読み方をすればよいか (例: 五月と十二月の幻灯を比べて読む、作者の生き方と関連付けて読む等)
- どんなまとめ方をすればよいか (例: レーダーチャート、年表等)

などを話し合い、学級全体で学習計画を立てる。

②課題に沿って読む

- 課題に沿って読み取りを進める。まとめ方は、児童それぞれが自由に選択できるようにする。

④全文を読んでまとめていく展開例

◆全文を視点に沿って読み、教材文に合ったまとめ方でまとめていく。

(例) 教材名「まいごのかぎ」(3年)

まとめ方: 気持ちマップ

- ①気持ちを読み取るための、読みの手掛かりを知る。

読むときに手掛かりとなる観点

「気持ちを表す言葉」「様子を表す言葉」「登場人物の行動」「会話」

- ②「かぎを挿す前」「出来事が起きたとき」「かぎを抜いた後」の3つの時間的視点で文章を捉え、主人公の気持ちを読み取れる叙述にサイドラインを引く。
- ③そのときの主人公の気持ちをマップにまとめる。

学習活動のネーミング化

- ◆学習活動をネーミング化し、下学年、上学年それぞれの間で共通して使うことで、児童が見通しをもって活動に取り組めるようにする。これにより、児童が次の活動を意識しながら学習に取り組めるようになり、主体的な学びにつながる。



学習過程	1～3年生	4～6年生
個人読み	じっくりタイム	マイタイム
グループ交流	わいわいタイム	シェアタイム
全体交流	なるほどタイム	フォローアップタイム
加筆修正	つけたしタイム	プラスタイム

令和5年度



1年

単元名 登場人物の気持ちを想像して
「なりきり音読発表会」をしよう

【指導案】



教材名 「くじらぐも」

本単元のねらい

登場人物の行動を具体的に想像する。



- 地の文や会話文から、登場人物の行動を読み取り、内容の大体を捉える。
- 音読台本にまとめる言語活動を通して、登場人物の気持ちを具体的に想像できるようにする。

読みの手掛かりの習得・「うさ松の秘伝書」の活用

- ◎「登場人物が言ったことやしたこと」、「挿絵」から、子供たちの気持ちを想像すること。
- 登場人物を見付けること。②
- 「いつ」「どこで」を見付け、場面設定を捉えること。①

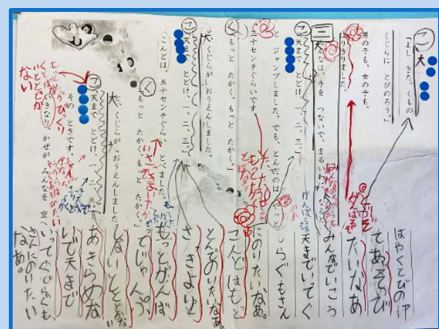
秘伝書②登場人物を見つけよう



学習活動の工夫

まとめ方「音読台本」

- 叙述から想像したことを基に、会話文に音読記号を工夫して書き込めるようにした。
- 「音読記号の付け方を知る」→「登場人物の気持ちを想像し、音読記号に反映させる」と段階的に指導し、自力読みができるようにした。



授業改善の視点

◆物語の特性を生かした指導計画◆

- 指導計画を立てる際は、物語の特性を生かし、場の設定の工夫や子供の想像力を高めるような言語活動を設定することが大切です。
- 全体交流では、それぞれの場面の様子が気持ちを想像する上での根拠となるため、会話だけでなく叙述に着目した児童の意見を取り上げるようにしましょう。

令和5年度



2年

単元名 お話を読んで、「お話きかん車 スイミー」で紹介しよう

【指導案】



教材名 「スイミー」

本単元のねらい

あらすじをまとめながら内容の大体を捉える



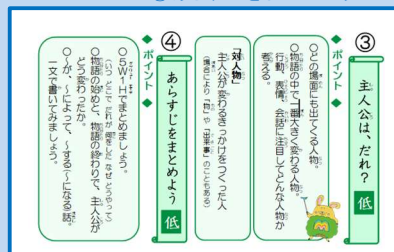
- 叙述から、「人物がしたこと」や「出来事」を見付け、短い言葉で書く。
- 書いたものをつなげて、内容の大体を捉える。

読みの手掛かりの習得・「うさ松の秘伝書」の活用

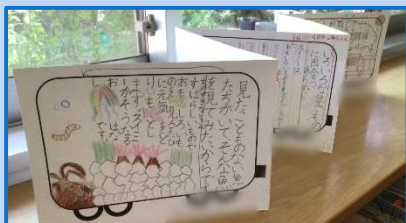
秘伝書③主人公は、だれ？

④あらすじをまとめよう

- ◎5W1Hであらすじをまとめること。④
- 主人公とは、どの場面にも出てきて物語の中で一番大きく変わる人物であること。③
- 新しい登場人物の登場や、場所、時が変わるときに場面を分けること。⑥



学習活動の工夫



まとめ方「お話きかん車スイミー」

- 主人公紹介、あらすじ紹介（初め・中・終わり）、お気に入りの場面をカードにまとめる。
- カード1枚を1号車とすることで、まとめるごとに車両が延び、学習意欲の向上につながるようにした。



授業改善の視点

◆同じもの探しではなく、違うもの探しをする◆

- 交流で大切なことは、最終的に自分で書いたものがよくなることです。そのためには、友達の作品との違いに着目させ、「自分にないもの」を探すと良いでしょう。自分に欠けていることを見付け、加筆修正することによって、つけたしタイムにつながります。

令和5年度



3年

単元名 登場人物の行動や気持ちを
「気持ちマップ」でまとめよう

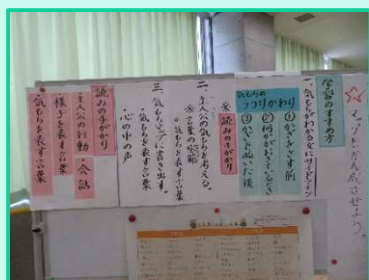
【指導案】



教材名 「まいごのかぎ」

本単元のねらい

主人公の気持ちの揺れ動きを「気持ちマップ」に表す

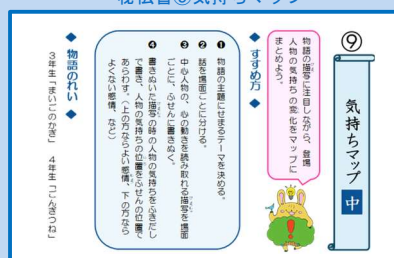


- 気持ちを表す語句や、登場人物の行動を手掛かりに、気持ちを読み取る。
- 出来事による主人公の気持ちの揺れ動きを「気持ちマップ」に表す。

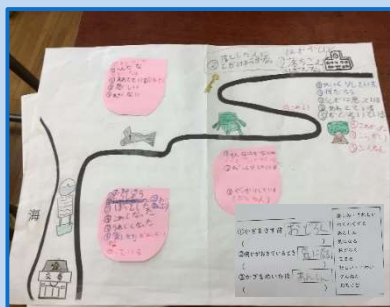
読みの手掛かりの習得・「うさ松の秘伝書」の活用

- ◎「気持ちを表す言葉」「様子を表す言葉」「行動」「会話」に注目すること。
- 叙述を基に登場人物の気持ちをマップにまとめること。⑨
- 出来事や場所が変わるときに場面を分けること。⑥

秘伝書⑨気持ちマップ



学習活動の工夫



まとめ方「りいこの気持ちマップ」

- 1枚のマップに主人公の気持ちをまとめ、出来事のつながりを分かりやすくした。また、挿絵や付箋を使い、自由にまとめられるようにした。また、ヒントカードをマップに貼れるようにし、自力読みができるようにした。



授業改善の視点

◆より主体的な交流活動を行うために◆

- じっくりタイムのときに、未完成のままでわいわいタイムを迎えると、交流がしづらくなるので時間を十分にとりましょう。わいわいタイムでは、同じところを見付けるのではなく、違うところに注目させるなど、交流の視点を明確にすると良いです。また、ペアで行うときには、何回かペアを替えて行うことで、より読み取りの深まりが図れます。

令和5年度



4年

単元名 気持ちの変化を読み、
考えたことを話し合おう

教材名 「ごんぎつね」

【指導案】



本単元のねらい

登場人物の気持ちの変化を捉える



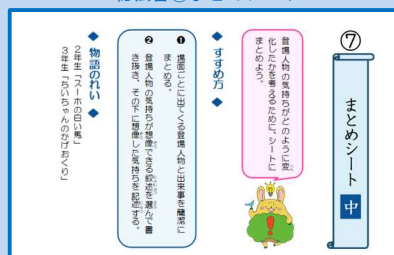
○行動や様子、会話などの気持ちを表す叙述について理解を深め、出来事をマップにまとめて内容の大体を捉える。

○登場人物の心の声を手掛かりにして、気持ちの変化を捉える。

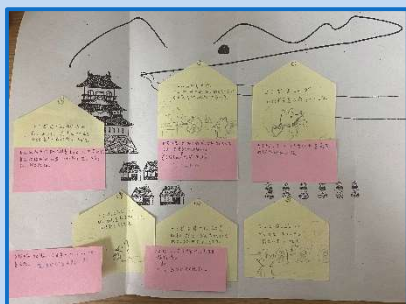
読みの手掛かりの習得・「うさ松の秘伝書」の活用

- ◎登場人物の「行動・様子」「会話」「心の声」「場所」に着目して読むこと。
- 読みの手掛かりを基に読み、出来事をマップにまとめること。⑦
- それぞれの出来事の登場人物の気持ちを考えること。

秘伝書⑦まとめシート



学習活動の工夫



まとめ方「ごんフレット」

- 「マップ」「プロフィール」「看板付箋」「でかんばん」の4つの言語活動を1つにまとめた「ごんフレット」を作成する活動を通して、主人公の気持ちの変化を捉えるようにした。



授業改善の視点

◆登場人物の気持ちの書き表し方◆

- 出来事をマップにまとめる際、教師が出来事やその場所の数を限定するのではなく、児童自身が気持ちの変化を捉えるために必要な出来事を選べるとよいでしょう。
- 本文（行動・会話など）のいくつかの言葉を引用し、想像した気持ちを文で書き表すとよいでしょう。

令和5年度



5年

単元名 物語の全体像をとらえ、
考えたことを伝え合おう

教材名 「たずねびと」

【指導案】



本単元のねらい

物語の全体像を捉える



- 心情を表す言葉や情景描写を手掛かりにして、人物の心情を読み取り、物語の全体像を捉える。
- 学習して変化した、自分の考えや平和への願いに対する思いをまとめる。

読みの手掛かりの習得・「うさ松の秘伝書」の活用

- ◎読み取ったことをまとめること。②④
- 主人公が出会ったものや人を整理し、場面を分けること。⑥
- 人物の心情を読み取ること。⑩

秘伝書④マップ



学習活動の工夫

個人の課題解決を促すまとめ方の選択

- 人物の心情を読み取る際、時系列、マップ、見聞レポートのまとめ方から選択できるようにした。
- 自ら読みの深め方を選択することで、主体的に学習に取り組めるようにした。



授業改善の視点

◆全体交流における教師の価値付け◆

- 全体交流では、児童から出された多様な内容を教師がまとめて、いくつかに分類することが必要です。価値付ける際には、ただ単に発表順に発言を取り上げるだけではなく、「〇〇のように書いているかどうか確かめてください。」などと教師側が観点を定め、児童に自分の文章を再度確認させることが大切です。

令和5年度



6年

単元名 作品の世界をとらえ、宮沢賢治の生き方と合わせて自分の考えをまとめよう

【指導案】



教材名 「やまなし」

本単元のねらい

作品の世界を捉える

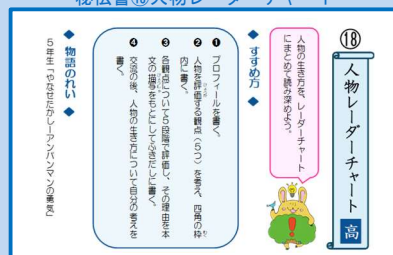


- 宮沢賢治の生き方・考え方を手掛かりにして、「やまなし」の世界観を捉える。
- 読みの視点を明確にすることで、「やまなし」と宮沢賢治の人となりを繋げて考える。

読みの手掛かりの習得・「うさ松の秘伝書」の活用

- ◎人物の生き方を、人物レーダーチャートにまとめ、人となりを理解すること。⑱
- 「人物を表す言葉」を参考にして、人物の人となりを表す言葉を考えること。

秘伝書⑱人物レーダーチャート



学習活動の工夫



児童自身が選択する自由なワークシート

- ワークシートを複数用意し、個人の読みに合わせて選択できるようにした。また個人読みの間に、短く交流を行うことで、友達の考えをヒントにし、自分の考えに自信をもって進められるようにした。



授業改善の視点

◆全体交流での教師の価値付け◆

- 児童に身に付けさせたい指導事項を明確にし、全体交流の価値付けの視点にします。読み取りが不十分な児童も最低限の読み方ができているか加筆修正することができるようにしましょう。
- シェアタイムでは、ただ友達のワークシートを書き写すのではなく、友達に考えの根拠をインタビューすることで、納得したら書き直すようにします。

令和5年度



くすのき

単元名 人物の様子や気持ちを読み取り
好きな場面を発表しよう

【指導案】



教材名 「こわれた千の楽器」

本単元のねらい

文章の内容の大体を捉え、登場人物の気持ちを考える

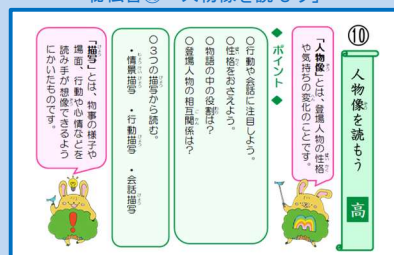


- 登場人物を見付けたり、気持ちを考えたりしながら、内容の大体を捉える。
- 会話文や様子を表す言葉から、登場人物の気持ちを考える。

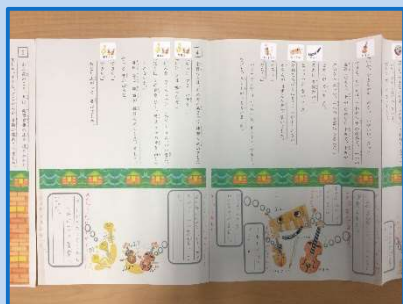
読みの手掛かりの習得・「うさ松の秘伝書」の活用

- ◎登場人物の気持ちを読み取ること。⑩
- 登場人物を見付けること。②

秘伝書⑩「人物像を読もう」



学習活動の工夫



まとめ方「本文一体型のワークシート」

- 本文の会話や根拠となる言葉と、そこから読み取った気持ちを一致させてまとめられるようにした。
- ワークシートをつなぎ合わせることで、物語全体の流れを捉えやすくした。



授業改善の視点

◆タブレットを活用しての共有の仕方◆

- 全体交流では、友達の考えをタブレットで見る（目）、声に出して読む（口）、話を聞く（耳）ことの3点が大切です。そうすることによって、登場人物の気持ちの理解が確かなものになるでしょう。

令和5年度



きはだ

単元名 おはなしをたのしもう

教材名 「やくそく」

【指導案】



本単元のねらい

ペープサート劇を通して、登場人物の気持ちを想像する。

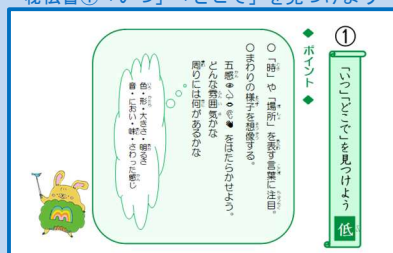


- 物語を読んで、すすんで内容の大体を捉えたり、感じたことや考えたことを伝えたりする。
- 場面の様子に着目して、登場人物の気持ちを具体的に想像する。

読みの手掛かりの習得・「うさ松の秘伝書」の活用

- ◎物語の設定や展開を確認する。①②
- 読みの手掛かりを基に、登場人物の気持ちを読み取ること。
- ペープサート劇を通して、登場人物の気持ちを想像すること。

秘伝書①「いつ」「どこで」を見つけよう



学習活動の工夫



ペープサート劇

- 会話や地の文に目を向けさせ、叙述を基に登場人物の気持ちを想像できるようにした。
- 児童が劇をした後、教員劇を見ることにより、違いに気付かせ、内容を理解したり想像力を膨らませたりすることを促した。



授業改善の視点

◆内容の理解の手段としての劇◆

- 演じることは、内容の理解のための手段として有効です。児童全員が登場人物になりきって演じることが大切です。劇をしたら、気持ちを交流し合いましょう。活動を録画したものを再生し、自分たちで改善点を見付けられると良いでしょう。

今後の展望

研究の4つの視点「ユニバーサルデザイン」「学び方の習得」「言語活動の工夫」「語彙の習得」は他教科の指導にも生かされると考えます。令和6年度からは、研究領域を他教科に発展させ、主体的・対話的で深い学びの実現に取り組んでいきます。学び方の習得のための「うさ松の秘伝書～文学的な文章の巻～」の完成版は、令和6年度から配布し、活用できるようにしていきます。

本校の研究に携わった教職員

☆研究主任 ♡研究副主任
◇主幹教諭 ♡研究部

校 長	寺崎 晶子		♡高橋 恒行		安齋 佳子		宇都宮 聡
副校長	山田 隼士		坂口 茅		池田 早苗		村田 尚美
	松本 泰治	くすのき学級	川崎 伸江		岡田 雄子		森田 里穂
	伊藤 美幸		◇三品 康之		栗原 知子		岡田安里小
	市川 唯菜		山崎 雄祐		榊原 晴世		小野寺 晃
1 年	宮澤 育子	きはだ学級	♡半田 祐子		嶋田みち子	令和4年度	越智 朋子
	♡安野 詩織		山田 千尋	講 師	中出 恵美		枝川 祐介
	♡佐藤 翔太		中里 奈穂		新倉 友香		中野 唯衣
	渡邉いちる		本間磨理子		原 留美		岡本 綾子
	中村伊都子		岡本 光生		前田 良江		青柳あゆみ
2 年	板澤 英明		◇高麗 裕太		松浦永次朗		
	東 隆弘	すまいるルーム	♡満生 渚		横田 秀美		
	♡中島木綿子		山村 樹		吉賀 正文		
	小屋 友樹		浅野茉莉絵	英語活動支援員	青木 成郎		
3 年	♡牛島 潤之	音楽	吾田 寧子		白濱 孝章		
	三浦 蒼生	図工	目黒 和美	スクールカウンセラー	八島 真紀		
	◇外村さやか	家庭	♡堀 奈央		山口 澄香		
	佐藤 貴子	英語	♡花里 拓紀	特別支援教室専門員	長谷川博子		
4 年	♡有馬 怜子	算数習熟度	立石 明子	学校包括支援員	蒔田 彩乃		
	岩下龍之介		安西 仁美	くすのき支援員	飯田 恵		
	吉井 貴彦	養護	宮崎 はな		草野 泰志		
	吉村 正平	非常勤講師	浦野 静枝		児玉 治香		
5 年	高野 陽介	栄養士	吉田 奈那	きはだ支援員	川島 康弘		
	鳥海 琴美		百合野 亘		大岡 妙美		
	☆池上 優子	事務	高橋 弘美		村田 剛		
	寶田 亮	学校事務アシスタント	三川 順子		藤田 悦子		
6 年	♡蛸子明香里	スクールサポートスタッフ	田村 康代	学校主事	並川 典子		
	畠 帆郎		國井 里香		横山 観二		
	◇桂 知琴				鈴木 陽子		



二次元コードを
読み取り、
研究発表会の
アンケートに
答えてね。



松沢小学校
マスコット
キャラクター

